

個人12

受 令和 4 年 6 月 1 日
付 午前・(午後) 0 時 44 分

一般質問（個人）通告書

令和 4 年 6 月 1 日

尾張旭市議会議長 殿

氏 名 山下 幹雄

尾張旭市議会会議規則第5-0条第1項の規定により6月定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項 3 件

2 質問方法

	1回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問事項（大項目）ごとの一問一答
○	1回目から 質問事項（大項目）ごとの一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。



質問事項 No. <u>2</u>	子育て支援策としての学校給食無償化の可能性について
要 旨	<p> そもそも学校給食とは、1889年、山形県の日本海沿岸の南部に位置する鶴岡町（現・鶴岡市）の忠愛小学校で、貧困児童を対象に無償で行われたことに端を発する。現在、公立小中学校の給食無償化が検討されるものの遅々として進まないのが現状だ。全国の市区町村教育委員会（1,740自治体）に対して、平成29年の学校給食費（食材費）の無償化等の実施状況及び完全給食の実施状況の調査が行われた。その結果、1,740自治体のうちで学校給食費の無償化を実施している自治体は、小学校・中学校共に無償化を実施しているのが76自治体に留まっている。そうした中、持続性の壁に挑戦し、2020年4月に中核市レベルで初めて学校給食費の無償化を実施したのが兵庫県明石市。完全無償化で同市は新たに約3億5,000万円の負担を計上した。また政令市レベルでは大阪市も検討段階に入っている。そこで、『こどもは宝』を前面に打ち出す森市政の本事務に対する見解とその可能性を尋ねる。 </p> <p> (1) 本市の給食費無償化に対する見解について </p> <p> ア 無償化のメリットデメリットについて </p> <p> イ 無償化の可能性とその道のりについて </p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

